

衝突・乗揚事故に注意！

【平成29年5月】

【事故概要】

平成29年5月18日、大分県杵築市住吉浜の沖において、プレジャーボートと作業船が衝突し、プレジャーボート乗組員**1名が負傷**しました。

衝突・乗揚事故を防止するために

事前の水路調査

海図等により航行する海域を事前に調査し、浅瀬等の危険な海域や、定置網等の存在を把握し安全な航海計画を立てましょう。

見張りの徹底

航行中に限らず、錨泊・操業・遊漁中であっても、常に**適切な見張り**を励行し、早めの避航動作をとりましょう。

居眠りに注意

乗組員が2人以上の場合は見張りを**交代し休息を取る**、**居眠り防止装置を使用**するなどの対策を講じましょう。

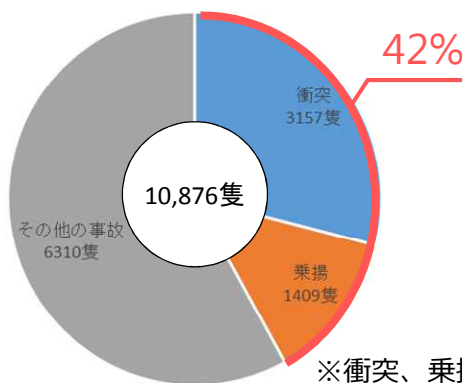
自動操舵使用時は注意

自動操舵使用時の事故原因は「見張り不十分」「居眠り運航」が多数を占めることから、自動操舵装置付属の**アラーム装置の導入及び利用**を心がけましょう。また、次のような場合は、**手動操舵**に切り替え、安全に操船しましょう。

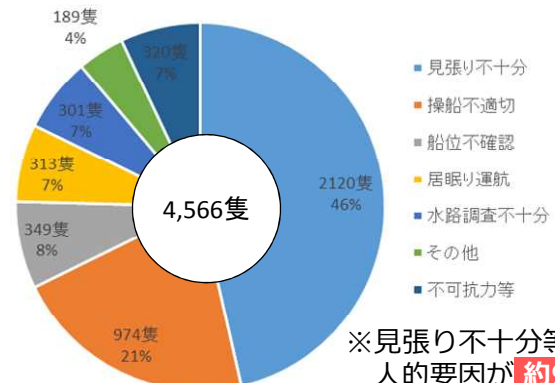
- ①港内 ②船が多い海域 ③荒天、視界不良時 ④周囲に浅瀬等がある場合
- ⑤潮流が強い狭水道 ⑥他船が接近するとき ⑦針路を変えるとき

過去5年間における船舶事故の特徴

○ 船舶事故の種類



○ 衝突・乗揚事故の原因



お問い合わせ



海上保安庁

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
(安全対策課) 03-3591-6361

海の安全情報

検索